LED Visole

取扱説明書

地上デジタルBS/CSハイビジョン
19/22/24型 液晶テレビ

品 番 **LCB1903V**
LCB2203V
LCB2403V

このたびはVisole液晶テレビをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

もくじ

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全にお使いください。
「取扱説明書」をお読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保存してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	**この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。**
⚠注意	**この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。**

絵表示について

絶対に行わない	絶対に触れない	絶対にぬれた手で触れない
絶対に分解や修理はしない	絶対に浴室やシャワー室では使用しない	絶対に水にぬらさない
必ず電源プラグをコンセントから抜く	必ず指示に従う	高圧注意（テレビ背面に表示）

家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

1　内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2　温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3　内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
4　ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きになったりしないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

安全上のご注意

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご相談ください。

高圧注意

分解禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘヤピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

水場での使用禁止

絶対に水にぬらさない

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

交流 100 ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。
電源プラグを交流 100 ボルト（AC100V）の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。
設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

禁止

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠注意

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。
- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

禁止

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

指示

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。
- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）

プラグをコンセントから抜け

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。
電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

指示

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えたりしない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

指示

乾電池の取り扱いについて

乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。
- ＋－の指示通りに入れる。
  使い切った電池はすぐに取り出す。種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- しばらく使わないときは取り出しておく。
  電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。液漏れが有った場合は、その液に触れない。

指示
禁止

使用上のご注意とお願い

◆ 輝点・欠点について
液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

◆ お手入れについて
お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
  - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
  - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

◆ 輸送について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

◆ 本機を破棄するとき
本機は家電リサイクル法の対象製品です。一般の廃棄物と一緒にしないでください。

◆ 本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

◆ 室内温度について
液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

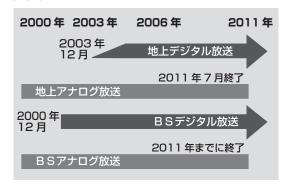
◆ バックライトについて
液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。本機のバックライト寿命は約50,000 時間です。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。

◆ デジタル放送のコピー制御について
本機には付属の B-CAS カードを必ず挿入してください。
デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、B-CAS カードの機能を利用します。
挿入されないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。
B-CAS カードを挿入していただくことで、NHK も、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します）
詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。
コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。
社団法人デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

主な特長

◆ **地上デジタル BS/CS デジタルチューナー内蔵**

デジタル放送は、アナログ放送では得られない高画質、高音質、多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。
また、電子番組表を使って見たい番組を簡単に選ぶことができます。

アナログ放送からデジタル放送への移行について
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

◆ **オンスクリーン表示**

画面を見ながら映像調整、音声調整などを設定できます。

◆ **映像／音声調整**

お好みの映像と音声を選ぶことができます。画面の「コントラスト」、「黒レベル」、「バックライト」、「色あい」、「色の濃さ」、「シャープネス」「色温度」をお好みの映像に調整して記憶させることができます。音声も「低音」、「高音」、「バランス」「高音強調」「低音強調」「サラウンド」をお好みの音声に調整することができます。

◆ **オンタイマー オフタイマー**

オンタイマーはお好きな時間にお好きなチャンネルで電源をオンすることが出来ます。
オフタイマーはおやすみ前にタイマーをセットしておくと、自動的に電源を消すことができます。（30・60・90・120 分）
タイマー機能で操作できます。（54 ページ参照）

◆ **HDMI 端子**

HDMI 対応のブルーレイ DVD プレーヤーや HDD レコーダーなどの AV 機器と接続して高品質な映像を楽しむことができます。（接続コードは付属していません。）

◆ **PC 入力端子**

15 ピン D-SUB 端子を使ってパソコンと接続することで、本機をパソコンのモニターとして使用できます。（接続コードは付属していません。）

◆ **画面サイズの切換**

映像に合わせて画面のアスペクト比率を 16：9 と 4：3 に切り換えることができます。

付属品を確認する

ご購入のパッケージ内には、以下のものが含まれています。すべて入っているかご確認ください。

本体

LCB1903V/2203V/2403V

スタンドベース

固定用ネジ（4 本）

リモコン × 1

単 4 形乾電池（R03）× 2

取扱説明書　× 1

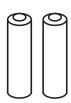
保証書　× 1

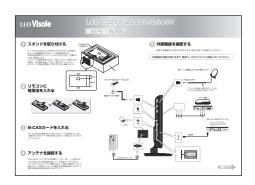
液晶テレビ　保証書　持込修理

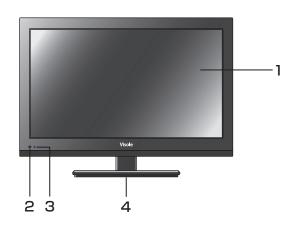
品番	LCB1903V/2203V/2403V	製造番号
お客様	お名前	
	ご住所　〒	
	電話番号	

お買い上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号
年　月　日	
保証期間(お買い上げ日から)	
本体　1 年間	

●お客様へのお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。

●ご販売店様へ
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、保証書をお客様へお渡しください。

B-CAS カード　× 1

簡単接続ガイド　× 1

各部の名称（本体）

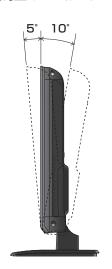
本体前面

1　液晶画面

2　リモコン受光部

3　電源ランプ

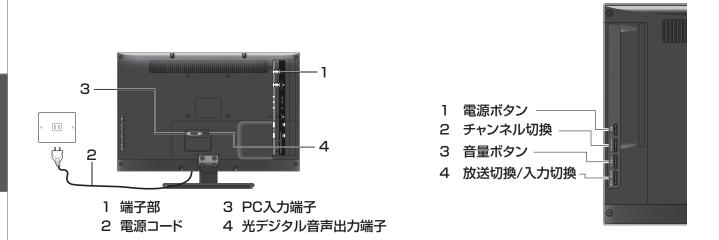
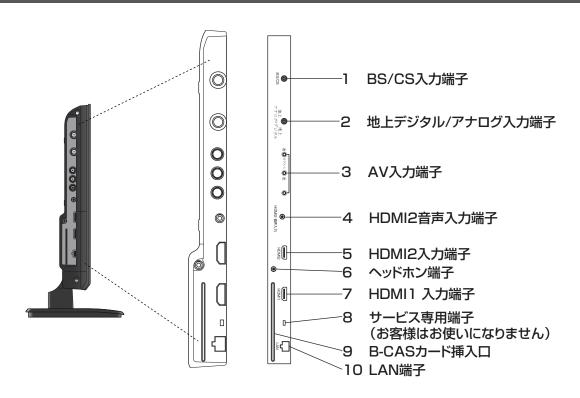
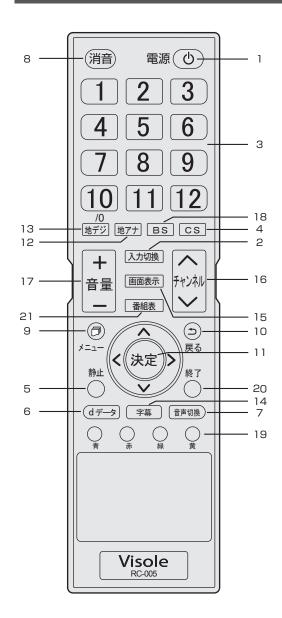
4　スタンド

◆ 画面の角度を調整する

本機の液晶画面は、角度を垂直方向に前方に 5°、後方に 10° 調整することができます。本体上部とスタンドをしっかり押さえながら、ゆっくりとお好みの角度に調整してください。

ご注意

- 画面の角度を調整できる範囲を超えて使用しないでください。
  範囲を超えての使用は、画面・スタンド・ヒンジに支障をきたす場合があります。
- ぐらついた台の上や、傾いた所など、不安定な場所には置かないでください。
  落ちたり、倒れたりして、故障やけがの原因となります。
- 持ち運ぶときは上部とスピーカーの下部の 2 か所をしっかりと持ってください。
  誤った方法で持ち運ぶと、テレビを落としてけがをする原因となることがあります。

各部の名称（本体）

本体背面

本体左側面端子部

各部の名称（リモコン）

1　**電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、切ったりします。

2　**入力切換ボタン**
入力ソースを切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、入力が切り換わり自動的にその画面が表示されます。

3　**数字ボタン**
視聴するチャンネルを選択します。

4　**CS ボタン**
110 度ＣＳデジタル放送に切り換えます。

5　**静止ボタン**
映像画面のみを静止します。

6　**d データボタン**
データ放送を表示します。

7　**音声切換ボタン**
2 カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。

8　**消音ボタン**
音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。

9　**メニューボタン**
メニュー画面を表示します。

10 **戻るボタン**
メニュー画面を表示しているとき、1 つ前の画面に戻ります。

11 **決定ボタン**
メニュー画面の選択内容を決定します。

▲ ▼ ◀ ▶ボタン
メニュー画面を表示しているときはカーソルを移動します。

12 **地アナボタン**
地上アナログ放送に切り換えます。

13 **地デジボタン**
地上デジタル放送に切り換えます。

14 **字幕ボタン**
字幕を切り換えます。

15 **画面表示ボタン**
現在受信しているチャンネルの番組情報が表示されます。

16 **チャンネル ∧ ∨ ボタン**
チャンネルを順に切り換えます。

17 **音量＋／－ボタン**
音量を大きくしたり、小さくしたりします。

18 **BS ボタン**
ＢＳデジタル放送に切り換えます。

19 **カラーボタン（青、赤、緑、黄）**
データ放送を利用する場合に使用します。

20 **終了ボタン**
メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表を消したいときに押します。

21 **番組表ボタン**
番組表をテレビ画面に表示します。（地上アナログ放送以外）

スタンドの取り付け

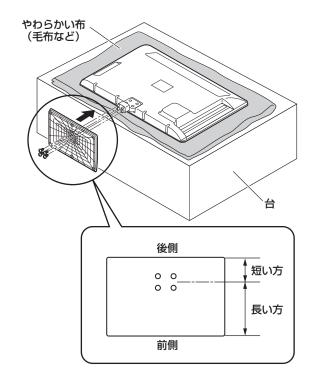
ご使用の前に、スタンドを取り付けてください。スタンドには前後があります。本体にスタンドを取り付ける際は、右の図を参照し前後を正しく取り付けてください。

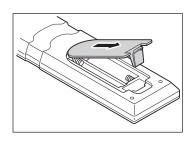
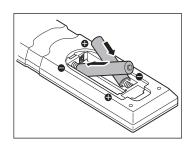
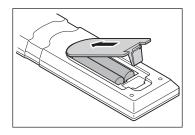
1 テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く

2 本体の突起部をスタンドベースの穴に差し込み、付属のネジ４本で固定します

ご注意

- スタンドの前後を間違えて取り付けると、転倒します。
- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

リモコンの準備と使い方

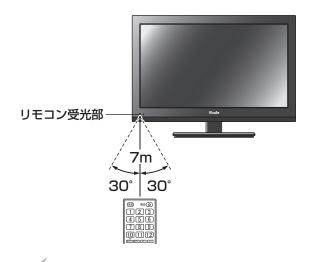
1 リモコン裏側の電池ケースカバーを上方向へ引き、カバーをはずす

2 乾電池の＋、－極の方向に注意して電池ボックスに乾電池を入れる

3 電池ケースカバーを元に戻す

ご注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から化学液が漏れることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れ方が正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

お願い

- 乾電池は正しい電極の向きで入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従ってください。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずし、正しく保管してください。

◆ リモコンで操作できる範囲

本体前面のリモコン受光部の正面から約 7 メートル、左右 30° の範囲でお使いください。

お願い

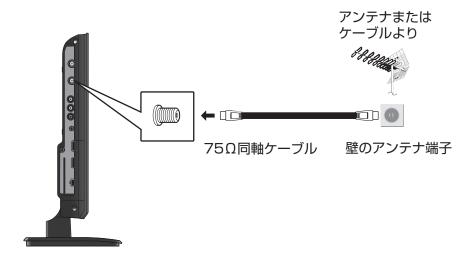
- 本体とリモコン受光部の間に物を置かないでください。

アンテナを接続する

ご注意

- アンテナを接続するときは、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- 一部のアンテナプラグの形状は、アンテナ端子への挿入が困難なものがあります。
  アンテナプラグをご確認ください。

VHF/UHF アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送は UHF 帯が利用されています。UHF 対応のアンテナを使用してください。VHF アンテナでは受信ができません。
現在お使いのアンテナが UHF 対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。
アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは付属しておりません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

お知らせ

- 本機はデジタルチューナーとアナログチューナーの併用型となっております。
- 受信信号レベルは天候等の影響により変動いたします。36 ページを参照頂きレベルが 50 以上になるように設定してください。レベルが足りない場合はブースター等で調整してください。
- ケーブルテレビで放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

BS・110 度 CS デジタル用アンテナ線のつなぎかた

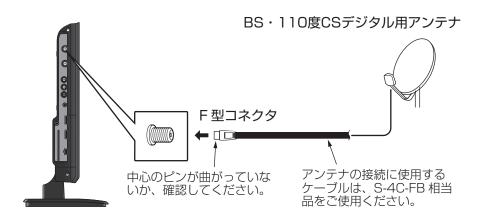
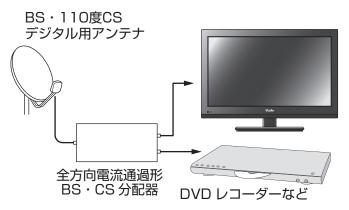
- BS デジタル放送だけを視聴する場合は BS デジタル用アンテナを、110 度 CS デジタル放送も視聴する場合は BS・110 度 CS デジタル用アンテナをご使用ください。（以下、これらのアンテナを BS・110 度 CS デジタル用アンテナと記載します）
- 本機と BS･110 度 CS デジタル用アンテナの接続には、BS･CS デジタル対応のケーブル（S-4C-FB 相当）をご使用ください。
- 110 度 CS デジタル放送を受信する場合でブースターや BS・CS 分配機を使用する場合は、110 度 CS デジタル放送（周波数 2150MHz 以上）に対応したものをお使いください。対応していないものを使用した場合には、110 度 CS デジタル放送を受信できません。

お知らせ

- 受信信号レベルは天候等の影響により変動いたします、37 ページを参照頂きレベルが 50 以上になるように設定してください。レベルが足りない場合はブースター等で調整してください。

ご注意

- 本機の BS・110 度 CS アンテナ入力端子から BS・110 度 CS アンテナに電源が供給されます。ケーブルに F 型コネクターを取付加工する場合は、芯線とアース線がショートしないようにしてください。

◆ BS・110 度 CS デジタル用アンテナをつなぐとき

◆ BS・110 度 CS デジタル用アンテナ 1 台で、本機など BS や 110 度 CS 機器を 2 台以上つなぐ場合

- BS や 110 度 CS 機器をつなぐときは、BS や 110 度 CS 機器付属の取扱説明書をご覧ください。
- 将来、110 度 CS デジタル放送でチャンネルがふえた場合、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できないことがあります。

B-CAS カードを入れる／電源を入れる

B-CAS カードを入れる

デジタル放送を視聴するには、B-CAS カードが必要です。常に付属の B-CAS カードを本体の B-CAS カード挿入口に入れておいてください。

ご注意

- B-CAS カードの抜き差しは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

◆ B-CAS カードのお問い合わせについて

B-CAS カードのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL　0570-000-250

電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 リモコンまたは本体右背面の電源ボタンを押す

電源が入り、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。
画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。
はじめて電源を入れたときはチャンネル設定が必要です。次ページの「はじめての設定」に進んでください。

お知らせ

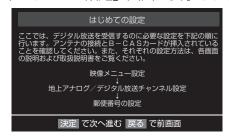
電源を入れてから画面が表示されるまでに約 10 秒程度時間がかかります。

チャンネル設定をする

はじめての設定

お買い上げ後、B-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」を行います。お住まいの地域に適したチャンネル設定をしてください。

1 表示に従って、(決定) を押す

「はじめての設定」画面が表示されます。

2 アンテナ接続と B-CAS カードを確認して (決定) を押す

はじめての設定　映像メニュー設定が表示されます。

はじめての設定　映像メニュー設定
お客様のお好みにあった映像モードを選択してください。
あざやか
標準
映画
メモリー
日中の明るいリビングで楽しむときに適した設定です。
⬆⬇ で選び 決定 で次へ進む 戻る で前画面

3 ▲▼でお好みの映像モードを選んで、(決定) を押す

はじめての設定　地上アナログ / デジタル放送チャンネル設定が表示されます。

4 ▲▼◀▶でお住まいの地方を選んで、(決定) を押す

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定が表示されます。

はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定
お住まいの都道府県を選んでください。
茨城県　栃木県　群馬県
埼玉県　千葉県　東京都
神奈川県
⬆⬇ ⬅➡ で選び 決定 で次へ進む 戻る で前画面

お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- (戻る) を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- メニュー画面の最下部に、簡易操作ガイドが表示されます。

チャンネル設定をする

5 ▲▼◀▶でお住まいの地域を選んで、(決定) を押す

「チャンネル」「表示」「放送局」画面が表示されます。

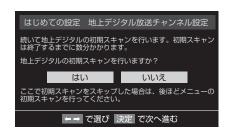
はじめての設定　地上アナログ放送チャンネル設定

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	地アナ　01	NHK総合
2	2	地アナ　02	
3	3	地アナ　03	NHK教育
4	4	地アナ　04	日本テレビ
5	16	地アナ　16	放送大学
6	6	地アナ　06	TBS

⬆⬇ でページ切換 決定 で次へ進む

6 表示された地上アナログチャンネル一覧の内容を確認して、(決定) を押す

設定された内容を変更したい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあとで、「手動設定」（49 ページ参照）で行ってください。

地上デジタルの初期スキャン画面が表示されます。

7 「はい」が選択されているのを確認して、(決定) を押す

地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

スキャンが終わり「はい」を選んで (決定) を押すと、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認しますか？が表示されます。「はい」を選んで (決定) を押します。

はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定

リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHKEテレ東京
3	テレビ	tvk
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS

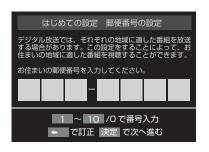
⬆⬇ でページ切換 決定 で次へ進む

8 ▼を押して、チャンネルの設定結果を確認する

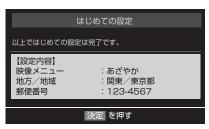
お知らせ

- 自動設定された内容を変更したい場合は、「地上アナログ手動設定」、「地上デジタル手動設定」で設定しなおすことができます。（48、49 ページ参照）
- 2011 年 7 月のアナログ放送停波後に地域によっては地上デジタルのチャンネルの設定番号が変更になる場合があります。その地域にお住まいの方はチャンネル再スキャンをしてください。（48 ページ参照）

郵便番号の設定

お住まいの地域に密着したデータ放送（天気予報・選挙速報など）を視聴したりするための設定です。郵便番号を設定することで、地域が指定されます。

9 **お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10/0 で入力し、決定 を押す。**

間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。

郵便番号入力で、上３ケタを入力して 決定 を押すと残りの４ケタは自動的に「0」が入力されます。

10 **以上ではじめての設定は完了です。**

地デジ難視対策衛星放送を受信する場合

地デジ難視対策衛星放送について

地デジ難視対策衛星放送とは、地上デジタル放送が送り届けられない地区にお住まいの方に、テレビ放送を視聴いただけるように、暫定的に衛星放送を利用して地上デジタル放送の番組をご覧いただくものです。この放送は総務省の補助と放送事業者の負担によって、社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）が実施しています。

- 視聴制御（スクランブル）をかけて対象地区を限定した放送です。
- 実施期間が 2015 年 3 月末までに限定された放送です。
- 視聴できるのは NHK および地域民放と同系列の東京の放送局の番組です。
- 地上デジタル放送と画質や利用できるサービスに違いがあります。（ハイビジョン画質ではなく標準画質となります。データ放送および双方向サービスは利用できません）

- この放送を利用できる対象地区は、総務省ホームページに公表されています。
  http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/index.html

ご利用やお申込みについてご不明な点は、以下の窓口にお問い合わせください

地デジ難視対策衛星放送についてのお問い合わせ先

地デジ難視対策衛星放送受付センター
【電話】(通話料がかかります)
ナビダイヤル 0570-08-2200
(045-345-0522)
【受付時間】平日 9:00 ～ 21:00
土・日・祝 9:00 ～ 18:00

本機の設定をする

お買い上げ時、本機は地デジ難視対策衛星放送の視聴や番組表表示ができないようになっています。利用できるようにするには、以下の設定が必要です。「地デジ難視対策衛星放送受付センター」への利用申込手続が完了した時点で視聴などができるようになります。
(手続完了前は設定をしても視聴などはできません)

1 **メニューを押し、▲▼と 決定 で「設定」→「初期設定」→「チャンネル設定」→「地デジ難視対策衛星放送」の順に進む**

2 **▲▼で「利用する」を選び、決定 を押す**

地デジ難視対策衛星放送番組の視聴や番組表表示ができるようになります。

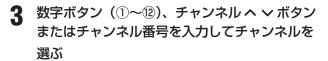
テレビを見る

1 **リモコンまたは本体右背面の電源ボタンを押す**

前面の電源ランプが緑色に点灯します。

しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。

2 **地デジ 、地アナ、 BS 、 CS で地上デジタル放送、地上アナログ放送、BS 放送または CS 放送を選ぶ**

3 **数字ボタン（①〜⑫)、チャンネル ∧ ∨ ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ**

チャンネル ∧ ∨ ボタンでは、押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。

チャンネル番号の入力は、メニュー を押し、▲▼と 決定 で「その他の設定」→「チャンネル番号入力」を選び、数字キーで 3 桁のチャンネル番号を入力します。

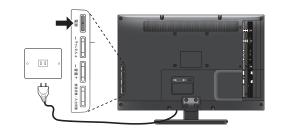
4 **音量＋／ーで音量を調節する**

◆ 音だけを消したいとき

1 **消音 を押す**

画面右下に「消音」と表示されます。

2 **元に戻すには、もう一度 消音 を押す**

音量＋／ーを押しても音が出ます。

番組表を見る（デジタル放送のみ）

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大 7 日先までの放送予定を確認できます。

1 **デジタル放送視聴中に［番組表］を押す**
視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。
放送の種類を変更するには［地デジ］、［BS］、［CS］のいずれかを押します。

2 **番組表を消すには、（戻る）、［番組表］、（終了）を押す**

お知らせ

- ［番組表］を押すと 2 秒ほどで表示されます。
- （メニュー）を押して番組情報取得を選択し、番組情報を取得してください。（表示されるまでに時間がかかったり、情報が取得できないことがあります。）

◆ 番組表の見かた

5 時間分の番組表が表示されます。
▲▼で時間帯が移動します。

6 チャンネル分の番組表が表示されます。
◀▶でほかのチャンネルに移動します。

選択している番組枠の情報が表示されます。

視聴予約を設定する

1 **デジタル放送視聴中に［番組表］を押す**
番組表が表示されます。

2 **▲▼◀▶で予約したい番組表を選び（決定）を押す**

3 **番組説明を確認して、「視聴予約をする」を選び、（決定）を押す**

4 **番組表の画面で、予約した番組のボックスに赤いマークが付く**

視聴予約を取り消す

1 **予約した番組を選び、（決定）を押す**

2 **番組説明を確認して、「視聴予約を取消」を選び、（決定）を押す**

3 **番組表の画面で予約した番組のボックスの赤いマークが消える**

デジタル放送の便利な機能を使う

字幕を表示する

字幕のある番組のときに、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。

1 デジタル放送視聴中に 字幕 を押す

▲▼で「字幕オフ」「字幕オン」を選択して 決定 を押します。

文字スーパーを表示する

文字スーパーは、見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。
文字スーパーの表示は、メニューの「文字スーパー表示設定」から設定することができます。50 ページをご覧ください。

チャンネル情報を見る／音声を切り換える

チャンネル情報を見る

画面表示ボタンを押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

1 **画面表示 を押す**

2 **表示を消すには、もう一度 画面表示 を押す**

◆ 地上デジタル放送の場合

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。

しばらくすると、画面下部の表示は消えて上部の表示だけになります。

◆ 地上アナログ放送の場合

チャンネル番号が表示されます。

しばらくすると下部の表示が消えて、上部の表示だけになります。

音声を切り換える

1 **音声切換 を押す**

押すたびに別の音声に切り換わります。

◆ 地上デジタル放送の場合

お知らせ

- 受信している放送によって音声表示は異なります。
- 切り換える音声がない場合には「音声多重放送でないため、切り換えられません。」と表示されます。

◆ 地上アナログ放送の場合

音声多重放送を受信しているときは、次のように音声が切り換わります。

「主音声」→「副音声」→「主・副音声」

データ放送を見る

◆ データ放送

- デジタル放送では映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは独立した別のチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

お知らせ

- 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、[d データ] ボタンは「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。
- 本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。

ラジオ、独立データ放送を楽しむ

1 **デジタル放送を見ているときに、(メニュー) を押す**

2 **▲▼　で「その他の設定」を選び、(決定) を押す**

3 **▲▼ で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び、(決定) を押す**

4 **切り換えたい項目(「テレビ」「ラジオ」「データ」)を ▲▼ で選び、(決定) を押す**

連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **(dデータ) ボタンを押す**

放送局により、表示される内容が異なります。画面に表示される操作指示に従って操作してください。

2 **▲▼◀▶ で移動し、(決定) ボタンを押す**

選択した情報を見ることができます。

3 **(dデータ) ボタンを押すと、通常の画面に戻ります**

(メニュー) を押し、▲▼ と (決定) で「その他の設定」→「データ放送終了」を押しても終了します。

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

◆ 地上デジタル放送の 16：9 映像のとき

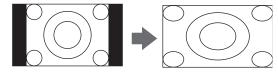
1 メニュー を押す

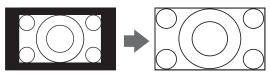
2 ▲▼ で「画面サイズ切換」を選んで、決定 を押す

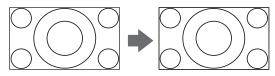
画面サイズ切換が表示されます。

3 「ワイド」「ズーム」「フル」を選んで、決定 を押す

ワイド

左右に黒帯のある画像を、画面いっぱいに拡大して表示します。（上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします）

ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。

フル

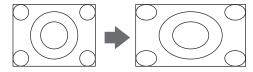
16：9 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。

◆ 地上アナログ放送の 4：3 映像のとき

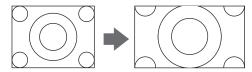
1 メニュー を押す

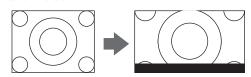
2 ▲▼ で「画面サイズ切換」を選んで、決定 を押す

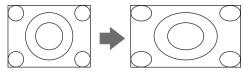
画面サイズ切換が表示されます。
「ワイド」「ズーム」「映画字幕」「フル」「ノーマル」を選んで、決定 を押します。

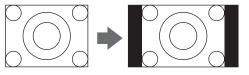
ワイド

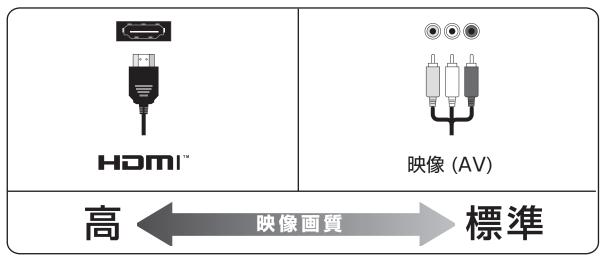
4：3 の映像をワイド画面いっぱいに拡大して表示します（上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします）

ズーム

4：3 の映像をアスペクト比を保ったまま拡大して表示します。（上下の映像が画面の外に隠れます）

映画字幕

映画画面の下部に黒い帯が入ります。

フル

4：3 の映像をワイド画面いっぱいに拡大して表示します。（映像が横伸びします）

ノーマル

4：3 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。（画面の左右に黒い帯が表示されます）

再生機器を接続する

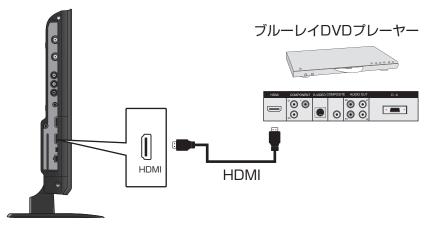
DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。
高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。

お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属しておりません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。

◆ 外部機器を接続する際のご注意

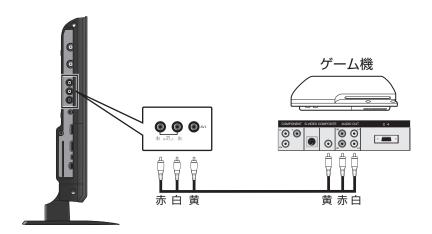
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

HDMI 端子を使う場合

HDMI 端子のあるブルーレイ DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを本機に接続することができます。
HDMI ケーブルを 1 本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

お知らせ

- HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。

再生機器を接続する

映像端子を使う場合

オーディオ機器をつなぐ

ミニコンポなどの場合

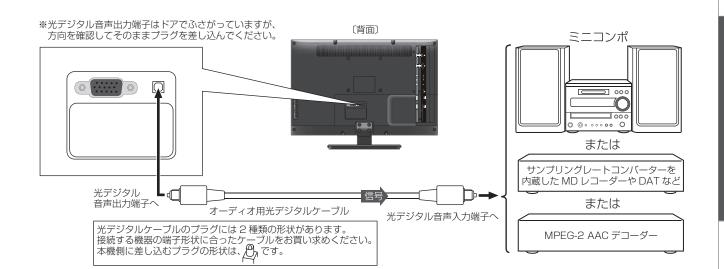
◆ ミニコンポなどの音響システムにつなぐとき

- 本機の音量を最小に調整し、ミニコンポなどの音響システム側で音量を調節してご使用ください。
- 音響システム側が対応しているデジタル音声入力に従って、次ページの「光デジタル音声出力設定」をします。

◆ サンプリングレートコンバーターを内蔵した MD レコーダーや DAT につなぐとき

- MD レコーダーや DAT の光デジタル音声入力端子につなげば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 次ページの「光デジタル音声出力」を「PCM」に設定します。

◆ MPEG-2 AAC デコーダーにつなぐとき

- デジタル放送の MPEG-2 AAC 方式の信号を、MPEG-2 AAC デコーダーで楽しむことができます。
- 次ページの「光デジタル音声出力」を「デジタルスルー」または、「サラウンド優先」に設定します。

オーディオ機器をつなぐ

光デジタル音声出力の設定

- 光デジタル音声出力端子から出力する音声信号の設定です。
- お買い上げ時は、「PCM」に設定されています。
- MPEG-2 AAC デコーダーや AAC デコーダー内蔵アンプをつなぐときは、「デジタルスルー」または「サラウンド優先」に設定してください。

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

メニューを押します。

▲▼ で「音声設定」を選び、決定を押します。

2 ▲▼ で「光デジタル音声出力」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で信号を選び、決定 を押す

PCM

リニア PCM 信号が出力されます。

デジタルスルー

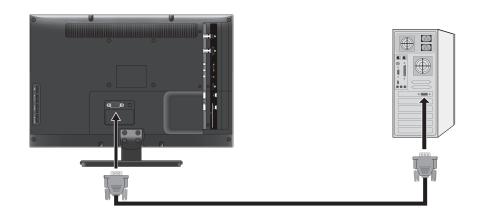
MPEG-2 AAC 信号の場合、その信号が出力されます。

サラウンド優先

MPEG-2 AAC 信号で、サラウンド音声（5.1ch や 4.1ch サラウンド音声など）の場合には、それらの信号が出力されます。それ以外の場合にはリニア PCM 信号が出力されます。

はじめに 準備 基本の操作 外部機器との接続 調整と設定 その他

パソコンを接続する

本機にパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。

ご注意

- 本製品は PC 入力時、音声出力はできません。
- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- 1024 × 768 @ 60Hz、800 × 600 @ 60Hz、640 × 480 @ 60Hz にのみ対応しております。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

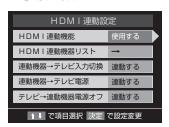
- パソコンを接続する前に、パソコンの画面設定（解像度、周波数）は取扱説明書の仕様を確認し、表示できる設定に変更してください。
- パソコン接続時の表示設定は、自動調整で最良に近い状態に設定されます。

HDMI 連動設定

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

1 以下の操作で「HDMI 連動設定」画面にする

メニューを押します。
▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「CEC 設定」を選び、決定 を押します。
「HDMI 連動設定」を選び、決定 を押します。

2 設定する項目を ▲▼ で選んで 決定 を押し、表の手順で設定する

3 終了 を押して、メニューを押す

項目	説明および操作手順
HDMI連動機能	● HDMI の各種連動制御を使用するかどうかを設定します。 ① ▲▼で「使用する」または「使用しない」を選び、決定 を押します。
HDMI連動機器リスト	● 一台以上の HDMI 連動機器を接続するとき、一つの HDMI 連動機器選択を設定します。 ① ▲▼で形名を選び、決定 を押します。 ② 赤 を押すと、HDMI の接続を再検出します。
連動機器→テレビ入力切換	● 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。（本機の電源が「入」の場合） ① ▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押します。
連動機器→テレビ電源	● 連動機器の電源を入れたときに、本機が自動的に電源を入れます。 ① ▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押します。
テレビ→連動機器電源オフ	● 本機の電源を切ったときに、連動機器が自動的に電源を切ります。 ① ▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定 を押します。

外部入力設定

外部入力スキップ設定

- 入力切換をするときに、使っていない入力をスキップする（飛び越す）ことができます。

1 **以下の操作で「外部入力設定」画面にする**

メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「外部入力設定」を選び、決定 を押します。

2 **▲▼ で「外部入力スキップ設定」を選び、決定 を押す**

3 **設定する外部入力を ▲▼ で選び、決定 を押す**

決定 を押すたびに「スキップ」が「する」、「しない」に交互に切り換わります。

「ビデオオート」を選択しているとき

- 「する」.........入力切換時に、ビデオ入力端子に何もつながっていない入力をスキップします。
- 「しない」.....入力切換時にスキップしません。

「ビデオオート」以外を選択しているとき

- 「する」.........入力切換時にスキップします。
- 「しない」.....入力切換時にスキップしません。

HDMI2 音声入力設定

- HDMI 入力 2 端子に DVI 出力機器を接続した場合などで、この機器からの音声を本機から出したいときに、ビデオ入力 2 の音声入力端子を HDMI 入力 2 で使用するように設定できます。

1 **以下の操作で「外部入力設定」画面にする**

メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「外部入力設定」を選び、決定 を押します。

2 **▲▼ で「HDMI2 音声入力設定」を選び、決定 を押す**

3 **▲▼ で以下の項目から選び、決定 を押す**

- デジタル.. HDMI 入力 2 端子に映像、音声ともに入力される場合は、この設定にします。
- アナログ ....HDMI 入力 2 端子につないだ機器の音声を、HDMI 入力 2 アナログ音声の音声入力端子から入力する場合は、この設定にします。

LAN 端子の接続・設定

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

LAN 端子設定

「LAN 端子設定」は、LAN 端子の接続をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。

1 以下の操作で「LAN 端子設定」画面にする

(メニュー) を押します。
▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。
▲▼ で「初期設定」を選び、(決定) を押します。
▲▼ で「通信設定」を選び、(決定) を押します。
▲▼ で「通信接続設定」を選び、(決定) を押します。

「LAN 端子設定」を選び、(決定) を押します。

2 設定したい項目を▲▼ で選んで (決定) を押し、以下の表の手順に従って設定する

3 設定を有効にするには、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れる

項目		説明および操作手順
LAN端子設定	IPアドレス設定	• インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。 ※「IP アドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS 設定」の「DNS アドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。 ①▲▼ で「IP アドレス設定」を選び、(決定) を押す ②IP アドレスを自動取得できる場合は、◀▶ で「する」を選ぶ ■ IP アドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合 1)◀▶ で「しない」を選ぶ 2) ▲▼ で「IP アドレス」を選び、1 ～ 10/0 で入力する 3) ▲▼ で「サブネットマスク」を選び、1 ～ 10/0 で入力する 4) ▲▼ で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1 ～ 10/0 で入力する ・ 2) ～ 4) では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。 ・ 欄を移動するには、◀▶ を押します。 ③(決定) を押す

項目		説明および操作手順
LAN端子設定 つづき	DNS設定	• ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。 ※「IP アドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS アドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。DNS アドレスを手動で設定してください。 ①▲▼ で「DNS 設定」を選び、(決定) を押す ②DNS アドレスを自動取得できる場合は、▲▼ で「する」を選ぶ ■ DNS アドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合 1)◀▶ で「しない」を選ぶ 2) ▲▼ で「DNS アドレス（プライマリ）」を選び、1 ～ 10/0 で入力する 3) ▲▼ で「DNS アドレス（セカンダリ）」を選び、1 ～ 10/0 で入力する ・ 2) と 3) では 0 ～ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。 ・ 欄を移動するには、◀▶ を押します。 ③(決定) を押す
	プロキシ設定	• インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。 • ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。 • ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。 ①▲▼ で「プロキシ設定」を選び、(決定) を押す ②▲▼ で「使用する」を選び、(決定) を押す ③▲▼ で「サーバー名」を選び、(決定) を押す ④サーバー名を入力する ・ 文字入力モードを切換えるには (画面表示) を押し ◀▶ 入力モードを選択し (決定) を押す。 ・ 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角です。 ⑤▲▼ で「ポート番号」を選び、1 ～ 10/0 でポート番号を入力する ⑥▲▼ で「設定完了」を選び、(決定) を押す
	MACアドレス	• ネットワーク上につながっている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。 ①▲▼ で「MAC アドレス」を選び、(決定) を押す ②MAC アドレスを確認したら、(決定) を押す

■ サービス専用について

• サービスマン専用の機能であり、お客様はご使用にならないでください。

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

アンテナの方向調整と設定

地上デジタル用アンテナの方向調整

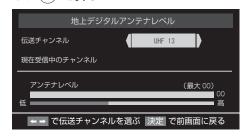
「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

(メニュー) を押します。
▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。
▲▼ で「初期設定」を選び、(決定) を押します。
▲▼ で「アンテナ設定」を選び、(決定) を押します。

アンテナ設定	
地上デジタルアンテナレベル	→
BS・110度CSアンテナレベル	→
BS・110度CSアンテナ電源供給	供給しない
BS中継器切換	→
110度CS中継器切換	→

↑↓ で項目選択 決定 で設定変更

2 ▲▼ で「地上デジタルアンテナレベル」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で「伝送チャンネル」を選ぶ

お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選んでください。

◀▶ を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF1 ～ VHF12 ↔ UHF13 ～ UHF62 ↔ CATV13 ～ CATV63

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。

5 アンテナを固定して、(決定) を押す

BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給設定

アンテナに供給する電源をアンテナ電源といいます。
お買い上げ時は、「切」に設定されています。
マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは、「切」に設定します。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

(メニュー) を押します。
▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。
▲▼ で「初期設定」を選び、(決定) を押します。
▲▼ で「アンテナ設定」を選び、(決定) を押します。

2 ▲▼ で「BS・110 度 CS アンテナ電源供給」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で「供給する」または「供給しない」を選び、(決定) を押す

お知らせ

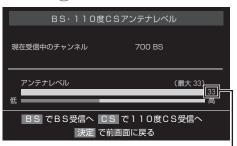
- BS・110 度 CS デジタル用アンテナのアンテナ電源供給設定について
  本機の電源を入れないで、DVD レコーダー単独で録画するときなどは、本機以外からアンテナ電源を供給する必要があります。

BS・110度CSデジタル用アンテナの方向調整

アンテナの方向調整は、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

メニュー を押します。
▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押します。

2 ▲▼ で「BS・110度CSアンテナレベル」を選び、決定 を押す

受信できるアンテナレベルの目安は、BSデジタルが36以上、110度CSデジタルが28以上です。
(表示される数値は、受信C/Nを換算したものです)

3 BS または CS を押して、放送の種類（BSまたは110度CS）を選ぶ

4 契約しているチャンネル、または無料チャンネルを チャンネル で選ぶ

5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認してください。

6 アンテナを固定して、決定 を押す

BS中継器切換／110度CS中継器切換

衛星の中継器が故障してすべての放送が受信できなくなってしまったときに、他の中継器に切り換えると、故障した中継器以外の放送が受信できます。通常は切換えの必要はありません。
そのほかにも、外部機器からの電波の妨害などで一部の中継器が受信できない場合も同様です。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

メニュー を押します。
▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押します。
▲▼ で「アンテナ設定」を選び、決定 を押します。

2 ▲▼ で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、決定 を押す

3 ◀▶ で中継器を切り換え、放送が受信できたら、決定 を押す

選択できる中継器は

- BSデジタル放送の場合：
  BS1、BS3、BS5、BS7、BS9、BS11、BS13、BS15
- 110度CSデジタル放送の場合：
  ND2、ND4、ND6、ND8、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24

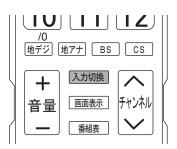
接続した機器の映像を見る（入力切換）

左側面の外部入力端子に接続したDVDプレイヤーやビデオデッキなどの使用時に入力切換を行います。

1 入力切換 **を押す**

2 入力切換 **を繰り返し押して、入力モードを選ぶ**

お知らせ

- 本体背面の入力切換ボタンでも入力切換ができます。
- 音量の調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。

テレビ
（地上デジタル、
地上アナログ
BS、CS）

ビデオ1

HDMI1

HDMI2

PC

メニュー画面の操作方法

本機の各種設定を変更することができます。設定できる項目の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

例：低音強調の設定をする場合

1 **(メニュー) ボタンを押す**

メニュー画面が表示されます。

2 **▲▼ で「音声設定」を選んで、(決定) を押す**

音声設定メニューが表示されます。

3 **▲▼ で「音声調整」を選んで、(決定) を押す**

4 **▲▼ で「低音強調」を選んで、(決定) を押す**

5 **▲▼ でお好みの設定を選んで、(決定) を押す**

6 **(終了) を押す**

メニュー画面が消え、通常の画面に戻ります。

お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- (戻る) を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- メニュー画面の最下部に、簡易操作ガイドが表示されます。

映像設定メニュー

現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI、PC）の映像を、お好みの画質に調整できます。

お知らせ

- 入力モードが「PC」の場合は、選択できない項目があります。

◆ 映像メニュー

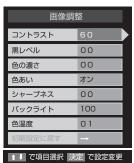
あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。

- **あざやか**
  コントラストが高く、くっきりとした映像が楽しめます。
- **標準**
  くせのない、標準的な色合いになります。
- **映画**
  落ち着いた色合いで、映画などのフィルム映像に適しています。
- **メモリー**
  映像メニューの「あざやか」「標準」「映画」をお好みに合わせて「コントラスト」「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「シャープネス」「バックライト」「色温度」を調整した場合に、「メモリー」に記憶されます。

◆ 映像調整

映像調整を選択することにより、お好みに合わせて画質調整をすることができます。

◆ 調整項目

コントラスト、 黒レベル、色の濃さ、色あい、シャープネス、バックライト、色温度の各設定を選択します。

お好みにあわせ調整をしてください。
調整した内容は ”メモリー”として保存され、映像モードで選択をすることができます。

- **コントラスト**
  設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
- **黒レベル**
  設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
- **色の濃さ**
  設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
- **色合い**
  設定値が低いと赤っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

- シャープネス
  設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
- バックライト
  バックライトの明るさをお好みによって調整できます。
- 色温度
  3 種類の色温度（色合い）設定が用意されています。お好みや視聴する映像に合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。
  03
  （赤味を強調した色合いになります。）
  02
  （標準的な色合いになります。）
  01
  （青味を強調した色合いになります。）

◆ ノイズリダクション

地上アナログ放送の映像のノイズを減らすことができます。「オート」を選ぶと映像のノイズを検出して自動で軽減します。

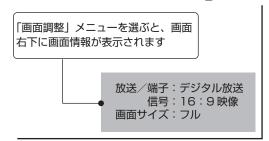
画面サイズを調整する

画面のスキャンモードを設定する

映像の種類によっては、設定できないことがあります。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「画面調整」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「スキャン切換」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で「ジャストスキャン」または「オーバースキャン」を選び、決定 を押す

・ジャストスキャン....16：9 の映像を画面内にすべて表示します。

・オーバースキャン....16：9 の映像を少し大きめに表示します。

画面の位置や幅を調整する

画面右下に表示されている「放送／端子、信号、画面サイズ」の組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。

※ワイド切換がフル、ノーマルの場合は調整できません。

※映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

※パソコンを接続したときに、画面の右下に表示される画面情報とパソコン側で設定した情報が一致しない場合があります。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「画面調整」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で調整したい項目を選び、決定 を押す

・上下振幅調整 ....映像の縦のサイズを調整します。

・上下画面位置 ....映像の表示位置を上下に調整します。

・左右振幅調整 ....映像の横のサイズを調整します。

5 ◀▶ でお好みの状態に調整し、決定 を押す

上下振幅調整と左右振幅調整は－ 03 ～＋ 03、上下の表示位置は－ 10 ～＋ 10 の範囲で調整できます。

調整画面では ◀▶ を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。

画面調整をお買い上げ時の状態に戻す

1 上記の手順４で「初期設定に戻す」を▲▼ で選び、決定 を押す

2 ◀▶ で「はい」を選び、決定 を押す

便利な機能を使う

映像を一時静止させる

1 静止◯を押す

解除するときは静止◯をもう一度押します。
一時静止中でも音声は流れ続けます。

字幕を見る

「字幕オン」に設定すると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ（字幕を表示しない）」に設定されています。
字幕放送番組は、22 ページ番組説明に字のアイコンが表示されます。（一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります）
地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

1 メニューを押す

2 ▲▼ で「その他の設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「信号切換」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「字幕切換」を選び、決定 を押す

5 「字幕オフ」または「字幕オン」を▲▼ で選び、決定 を押す

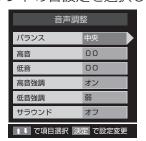
音声設定メニュー

現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI、PC）の音声を、お好みの音質に調整できます。

◆ 音声調整

音声調整を選択することにより、お好みに合わせて音質調整をすることができます。

調整項目

バランス、 高音、低音、高音強調、低音強調、サラウンドの各設定を選択します。

- **バランス**
  左右の音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。
- **高音**
  設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
- **低音**
  設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
- **高音強調**
  ドラマのセリフや楽器の輪郭を明りょうにして聞きやすくします。「オン」「オフ」で切り換えます。
- **低音強調**
  低音の効果を強くすることができます。
  設定値が大きいほど豊かな低音を再生します。
- **サラウンド**
  ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。「オン」「オフ」で切り換えます。

調整画面

お好みにあわせ調整をしてください。
調整した内容は”メモリー”として保存され、音声モードで選択をすることができます。

設定メニュー

設定メニューではお知らせ、機能設定、CEC 設定初期設定を行ないます。

◆ お知らせ

- お知らせを見るには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。
- 未読のお知らせがあると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「お知らせ」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ でお知らせの種類を選び、決定 を押す

・ 放送局からのお知らせ... デジタル放送局からのお知らせです。

・ 本機に関するお知らせ... 予約等について本機が発行したお知らせです。

・ ボード............................. 110 度 CS デジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

5 ▲▼ で読みたいお知らせを選び、決定 を押す

「本機に関するお知らせ」を削除する場合

- 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

  ①「本機に関するお知らせ」の画面で 青 を押す
  ②◀▶で「はい」を選び、決定を押す
  ※「本機に関するお知らせ」がすべて削除されます。

ご注意

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが 7 通まで記憶され、BS デジタルと 110 度 CS デジタルは、合わせて 24 通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります）記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は既読の古いものから順に削除される場合があります。
- 「ボード」は 110 度 CS デジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが 50 通まで表示されます。

機能設定メニュー

◆ 機能設定

機能設定では省エネ設定、視聴制限設定、外部入力設定、ソフトウェアのダウンロードの設定を行ないます。

機能設定
省エネ設定 →
視聴制限設定 →
外部入力設定 →
ソフトウェアのダウンロード →
⬆⬇ で項目選択 決定 で設定変更

◆ 省エネ設定

省エネ設定では消費電力、番組情報取得設定、無操作自動電源オフ、オンエアー無信号オフ、外部入力無信号オフ、クイックスタートの設定を行ないます。

- **消費電力**

バックライトの明るさを調整し消費電力をお好みに調整できます。

- **番組情報取得設定**

電源待機時に地上デジタル放送の番組情報を自動的に取得するかしないかを選択します。

- **無操作自動電源オフ**

テレビの無操作状態が約 3 時間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。

- **オンエアー無信号オフ**

放送受信時に、無信号状態が約 15 分間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。

- **外部入力無信号オフ**

外部入力選択時に、無信号状態が 15 分間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。

- **クイックスタート**

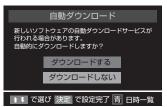
「待機」状態のときに、リモコンの電源ボタンを押すと「クイックスタート」をするかしないかを選択します。

機能設定メニュー

◆ ソフトウェアダウンロード

ソフトウェア自動更新の設定や、ソフトウェアバージョンを確認できます。

ソフトウェア自動更新

本機のソフトウェアを自動的にダウンロードして更新するか設定します。

「ダウンロードする」に設定しておくと、新しいソフトウェアが配信された際、自動的にダウンロードと更新が行われます。「ダウンロードしない」に設定している場合は、「お知らせ（メール）」の「本機に関するお知らせ」に、ソフトウェア配信の日時を知らせるメールが届きます。配信日時までに「する」に設定してください。

ご注意

- 主電源が OFF になっていると、ソフトウェアのダウンロードを行えません。コンセントを抜かないようご注意ください。
- アンテナ受信レベルが低い場合、ソフトウェアのダウンロードは行えません。NHK のアンテナレベルが 50 以上になるよう、アンテナを調整してください。

ソフトウェアバージョン

現在のソフトウェアのバージョンを表示します。

降雨対応放送について

BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> メニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード:E201

1 メニュー 押す

2 ▲▼ で「その他の設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「信号切換」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「降雨対応放送切換」を選び、決定 を押す

5 ▲▼ で「降雨対応放送」を選ぶ

降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

初期設定メニュー

初期設定メニューに表示される項目は、地上アナログ、地上デジタル、PC 入力など、選択している入力モードによって異なります。
入力モードを選んでから メニュー を押してメニューを表示し、▲▼で「初期設定」を選択してください。

◆ はじめての設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「はじめての設定」を行ってください。操作手順は17 ページを参照してください。

◆ アンテナ設定

◀ ▶で受信チャンネルを選ぶと、チャンネルごとのアンテナレベルを確認できます。

◆ チャンネル設定

- **地上デジタル自動設定**

  引越しした場合などこのメニューからチャンネルを設定してください。状況に応じて「初期スキャン」か「再スキャン」を選びます。

  「初期スキャン」を選ぶと現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンし、設定します。購入後初めて設定する場合、違う地域に引っ越した場合は、こちらを選びます。

  「再スキャン」を選びスキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。

- **地上デジタル手動設定**

  リモコンの数字キーに、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。

1 ▲▼で変更したい数字キーを選んで 決定 決定を押す

2 ◀ ▶でチャンネル変更し、決定 を押す

3 決定 を押し▶で設定完了

- **地上アナログ自動設定**

お住まいの地域を選択後、自動設定を行います。

地上アナログ放送のチャンネル設定をやり直します。

- **地上アナログ手動設定**

手動設定　地上アナログ

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	地アナ 01	NHK総合
2	2	地アナ 02	
3	3	地アナ 03	NHK教育
4	4	地アナ 04	日本テレビ
5	16	地アナ 16	放送大学
6	6	地アナ 06	TBS

で選び 決定 で次へ進む 戻る で前画面

1 ▲▼ で変更したい数字キーを選んで 決定 を押す

2 ▲▼◀▶でそれぞれの項目を設定する

3 決定 を押す

- **BS デジタル手動設定**

手動設定　BS

リモコン	チャンネル	放送局
1	BS 101	
2	BS 102	
3	BS 103	
4	テレビ	BS日テレ
5	テレビ	ビーエス朝日
6	テレビ	BS-TBS

で選び 決定 で次へ進む 戻る で前画面

1 ▲▼ で変更したいチャンネルボタンを選んで 決定 を押す

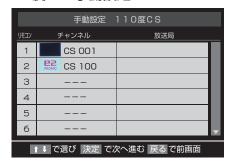
2 ▲▼ で「チャンネル」を選び、◀▶で BS デジタルのチャンネルを変更し 決定 を押す

3 終了 を押す

- **110 度 CS 手動設定**

手動設定　110度CS

リモコン	チャンネル	放送局
1	CS 001	
2	CS 100	
3	–––	
4	–––	
5	–––	
6	–––	

で選び 決定 で次へ進む 戻る で前画面

1 ▲▼ で変更したいチャンネルボタンを選んで 決定 を押す

2 ▲▼ で「チャンネル」を選び、◀▶で 110 度 CS デジタルのチャンネルを選んで 決定 を押す

3 終了 を押す

- **地上デジタル字幕設定**

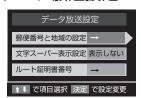
お好みに合わせて字幕を表示したり、消したりします。（地上デジタル放送の場合のみ切換できます。）

「字幕オン」「字幕オフ」が設定できます。

- **地上アナログ音多設定**

複数の音声がある場合に、音声を切り換えます。
受信している放送によって音声表示は異なります。
音声多重放送を受信しているときは、次のように音声が切換わります。

「主音声」→「副音声」→「主・副音声」

◆ データ放送設定

データ放送を見る際の設定を行います。

- **郵便番号入力**

お住まいの郵便番号を入力しておくことにより、データ放送において、地域の情報を得ることができます。

◀ を 7 回押し先頭の郵便番号枠へ移動し、数字ボタン（①～⑩）で入力します。「0」は ⑩ ボタンで入力されます。

- **文字スーパー表示設定**

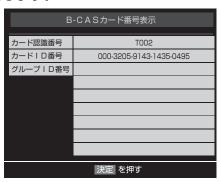
見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。

「表示する」「表示しない」が設定できます。

- **ルート証明書番号**

地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。

◆ B-CAS カード番号表示

本機にセットされている B-CAS カードの番号を表示します。

◆ 設定の初期化

すべての項目を初期化し、お買い上げになった時に戻します。

チャンネルスキップ設定

- チャンネル で選局するときに、不要なチャンネルを飛び越すことができます。
- CATV チャンネルは、お買い上げ時は「スキップ」になっています。受信するには、以下の手順で「受信」に設定してください

1 以下の操作で「チャンネルスキップ設定」画面にする

メニュー を押します。

▲▼ で「設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押します。

▲▼ で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定 を押します。

2 設定したい放送の種類を ▲▼ で選び、決定 を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを ▲▼ で選び、決定 を押す

- 決定を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。
- デジタル放送の放送メディア（テレビ／ラジオ／データ）を変えるときは、青を押します。
- 1 ～ 12 に割り当てた CATV チャンネル（C13 ～ C63）は、「リモコン」欄が 1 ～ 12 よりも下のリストで「設定済み」として表示されます。

ステレオ／モノラルの設定

- 地上アナログ放送で電波の弱いステレオ放送のときに、雑音が出ることがあります。その場合、「モノラル」に設定すれば聴きやすくなることがあります。
- 電波の弱いチャンネルの放送を視聴している状態で以下の設定をします。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

(メニュー)を押します。

▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「チャンネル設定」を選び、(決定) を押します。

2 ▲▼ で「ステレオ／モノラル」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で「ステレオ」または「モノラル」を選び、(決定) を押す

無信号消音設定

- 地上アナログ放送が無信号のとき（放送のないチャンネルを選択したり、放送が終わったりしたときなど）に、音声が出ないように設定することができます。
- 電波が極端に弱いチャンネルを選択したときにも、機能が働くことがあります。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

(メニュー)を押します。

▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「チャンネル設定」を選び、(決定) を押します。

2 ▲▼ で「無信号消音設定」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で「入」または「切」を選び、(決定) を押す

・ 入............ 無信号のときに音声を出さない。
・ 切............ 無信号のときにも音声を出す。

チャンネル設定を最初の状態に戻す

すべてのチャンネル設定と、「登録されている郵便番号」、「音量」をお買い上げ時の状態に戻します。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

(メニュー)を押します。

▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「チャンネル設定」を選び、(決定) を押します。

2 [▲▼ で「初期設定に戻す」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で「はい」を選び、(決定) を押す

簡易確認テスト

引越しなどでチャンネル設定を変えた場合や、B-CAS カードの状態を確かめたいときなどに、簡単な確認テストをすることができます。

1 以下の操作で「初期設定」画面にする

(メニュー)を押します。

▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び、(決定) を押します。

2 ▲▼ で「簡易確認テスト」を選び、(決定) を押す

確認テストが始まります。テスト結果については下表をご覧ください。

簡易確認テスト		
地上デジタル受信テスト	伝送チャンネル 正常に受信できています。	UHF 27
BS・110 度 CS 受信テスト	正常に受信できています。	
カードテスト	正常に動作しています。	

←→ で地デジの伝送チャンネルを選ぶ 決定 で簡易確認テスト完

「地上デジタル受信テスト」の伝送チャンネルを変えるには

①◀▶で伝送チャンネルを選ぶ

- 受信テストが始まり、結果が表示されます
- 他の伝送チャンネルをテストする場合も同じ操作をします。

3 簡易確認テストが終了したら、(決定) を押す

テスト項目	テスト結果の表示	内容または対処のしかた
地上デジタル受信テスト 地上デジタル放送が受信できることをテストします。	「正常に受信できています。」	—
	「正しく受信できません。」	• アンテナの接続とアンテナレベルを確認してください。
BS・110 度 CS 受信テスト BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送が受信できることをテストします。	「正常に受信できています。」	—
	「正しく受信できません。 または「B S（110 度 CS は受信できますが 110 度 CS（BS）が受信できません。」	• アンテナの接続と設定・調整を確認してください。
カードテスト 本機で使える B-CAS カードかどうかテストします。	「正常に動作しています。」	—
	「B-CAS カードを正しく挿入してください。」	• B-CAS カードを正しい向きで挿入後、もう一度簡易確認テストをしてください。
	「この IC カードはご使用になれません。正しい B-CAS カードを挿入してください。」	
	「この B-CAS カードはご使用になれません。」	• B-CAS カードを確かめてください。 • B-CAS カードを交換してください。 • カードに記載の B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
	「B-CAS カードが故障しています。」	

機能設定

暗証番号の設定

視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

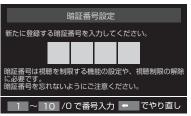
1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

(メニュー)押します。

▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「制限設定」を選び、(決定) を押します。

2 ▲▼ で「暗証番号設定」を選び、(決定) を押す

3 1～10/0でもう一度暗証番号を入力し、確認画面で (決定) を押す

暗証番号の削除

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

(メニュー)を押します。

▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「制限設定」を選び、(決定) を押します。

2 ▲▼ で「暗証番号削除」を選び、(決定) を押す

3 1～10/0で暗証番号を入力し、確認画面で (決定) を押す

4 確認画面で、◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す

視聴年齢制限設定

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには暗証番号および以下の設定が必要です。

1 以下の操作で「視聴制限設定」画面にする

(メニュー)押します。

▲▼ で「設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、(決定) を押します。

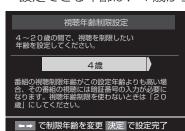
▲▼ で「制限設定」を選び、(決定) を押します。

2 ▲▼ で「視聴可能年齢」を選び、(決定) を押す

暗証番号の入力画面になります。

3 1～10/0で暗証番号を入力し、(決定) を押す

4 ◀▶ で年齢を設定し、(決定) を押す

設定できる年齢は、4 歳から 20 歳までです。

タイマー機能メニュー

オンタイマーを使う

設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 (メニュー) を押す

2 ▲▼ で「タイマー機能」を選び、(決定) を押す

3 ▲▼ で「オンタイマー」を選び、(決定) を押す

4 「オンタイマー設定画面」で設定する項目を ▲▼ で選び、(決定) を押す

オンタイマー機能

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

①▲▼ で「オンタイマー機能」を選び、(決定) を押す

②▲▼ で「入」を選び、(決定) を押す

- オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

日時

オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

①▲▼ で「日時」を選び、(決定) を押す

②◀▶ で設定する項目を選び、▲▼で日時を選ぶ

- 曜日は「毎日」、「毎週（日）」～「毎週（土）」、「月～木」、「月～金」「月～土」の中から選びます。

③設定が終わったら、(決定) を押す

5 「オンタイマー」を「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を切る

本体の電源ボタンで電源を切らないでください。

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

①▲▼ で「チャンネル」を選び、(決定) を押す

②▲▼ でチャンネルを選び、(決定) を押す

③設定が終わったら、(決定) を押す

- 放送の種類： 地デジ／ BS ／ CS
- チャンネル： 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。

①▲▼ で「音量」を選び、(決定) を押す

②▲▼ でお好みの音量を選び、(決定) を押す

- 本体前面の「オンタイマー」表示が点灯します。

オフタイマーを使う

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 メニューを押す

2 ▲▼ で「タイマー機能」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「オフタイマー」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で設定時間を選び、決定 を押す

- 電源が切れる 1 分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときにメニューを押すと、メニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下記のとおりです。（まだ放送を開始していない放送局もあります）
引越しや新しく放送局が開局されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、地上デジタルモードで初期設定メニューを表示し、「チャンネル設定」の「地上デジタル自動設定」で「地域選択」と「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。

都道府県	チャンネルポジション	放送局
北海道（帯広）	3	NHK総合·帯広
	2	NHK教育·帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道（釧路）	3	NHK総合·釧路
	2	NHK教育·釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道（北見）	3	NHK総合·北見
	2	NHK教育·北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	8	UHB北見
	7	TVH北見
北海道（旭川）	3	NHK総合·旭川
	2	NHK教育·旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道（札幌）	3	NHK総合·札幌
	2	NHK教育·札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
北海道（函館）	3	NHK総合·函館
	2	NHK教育·函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道（室蘭）	3	NHK総合·室蘭
	2	NHK教育·室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
青森	3	NHK総合·青森
	2	NHK教育·青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送
岩手	1	NHK総合·盛岡
	2	NHK教育·盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
宮城	3	NHK総合·仙台
	2	NHK教育·仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合·秋田
	2	NHK教育·秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合·山形
	2	NHK教育·山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合·福島
	2	NHK教育·福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
茨城	1	NHK総合·水戸
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学

都道府県	チャンネルポジション	放送局
千葉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
東京	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	TOKYO MX
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	tvk
	12	放送大学
新潟	1	NHK総合·新潟
	2	NHK教育·新潟
	6	BSN
	8	NST
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
富山	3	NHK総合·富山
	2	NHK教育·富山
	1	KNB北日本放送
	8	BBT富山テレビ
	6	チューリップテレビ
石川	1	NHK総合·金沢
	2	NHK教育·金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
福井	1	NHK総合·福井
	2	NHK教育·福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
山梨	1	NHK総合·甲府
	2	NHK教育·甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
長野	1	NHK総合·長野
	2	NHK教育·長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送

地域別チャンネル表

都道府県	チャンネルポジション	放送局
静岡	1	NHK総合·静岡
	2	NHK教育·静岡
	6	SBS
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
	5	静岡朝日テレビ
岐阜	3	NHK総合·岐阜
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ~テレ
	4	中京テレビ
	8	岐阜テレビ
愛知	3	NHK総合·名古屋
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ~テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
三重	3	NHK総合·津
	2	NHK教育·名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ~テレ
	4	中京テレビ
	7	三重テレビ
滋賀	1	NHK総合·大津
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	BBCびわ湖放送
京都	1	NHK総合·京都
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	KBS京都
大阪	1	NHK総合·大阪
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	7	テレビ大阪
兵庫	1	NHK総合·神戸
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	サンテレビ
奈良	1	NHK総合·奈良
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	9	奈良テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
和歌山	1	NHK総合·和歌山
	2	NHK教育·大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	テレビ和歌山
鳥取	3	NHK総合·鳥取
	2	NHK教育·鳥取
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
島根	3	NHK総合·松江
	2	NHK教育·松江
	8	山陰中央テレビ
	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
岡山	1	NHK総合·岡山
	2	NHK教育·岡山
	4	RNC西日本テレビ
	5	KBS瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
広島	1	NHK総合·広島
	2	NHK教育·広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
山口	1	NHK総合·山口
	2	NHK教育·山口
	4	KRY山口放送
	3	tysテレビ山口
	5	yab山口朝日
徳島	3	NHK総合·徳島
	2	NHK教育·徳島
	1	四国放送
香川	1	NHK総合·高松
	2	NHK教育·高松
	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
愛媛	1	NHK総合·松山
	2	NHK教育·松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
	8	テレビ愛媛
高知	1	NHK総合·高知
	2	NHK教育·高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
	8	さんさんテレビ
福岡	3	NHK総合·福岡
	3	NHK総合·北九州
	2	NHK教育·福岡
	2	NHK教育·北九州
	1	KBC九州朝日放送
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
	7	TVQ九州放送
	8	TNCテレビ西日本

都道府県	チャンネルポジション	放送局
佐賀	1	NHK総合·佐賀
	2	NHK教育·佐賀
	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合·長崎
	2	NHK教育·長崎
	3	NBC長崎放送
	8	KTNテレビ長崎
	5	NCC長崎文化放送
	4	NIB長崎国際テレビ
熊本	1	NHK総合·熊本
	2	NHK教育·熊本
	3	RKK熊本放送
	8	TKUテレビ熊本
	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
大分	1	NHK総合·大分
	2	NHK教育·大分
	3	OBS大分放送
	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合·宮崎
	2	NHK教育·宮崎
	6	MRT宮崎放送
	3	UMKテレビ宮崎
鹿児島	3	NHK総合·鹿児島
	2	NHK教育·鹿児島
	1	MBC南日本放送
	8	KTS鹿児島テレビ
	5	KKB鹿児島放送
	4	KYT鹿児島読売TV
沖縄	1	NHK総合·那覇
	2	NHK教育·那覇
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ(OTV)

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下を確認してください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
  液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99％以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」いうきしみ音がする
  部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
  本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	• リモコンを受光部に向けていますか？ • お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？ →リモコン受光部に強い光を当てないでください。 • 乾電池が消耗していませんか？ →新しい乾電池に交換してみてください。 • 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？ →正しく入れ直してください。
突然電源が切れた	• オフタイマーを設定していませんか？ →オフタイマーの設定を確認してください。

故障かな？と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
映像が出ない AV 映像が出ない	• アンテナは正しくつながっていますか？ →アンテナの接続を確認してください。 • 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をしなおしてください。 • 外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。 • 電源スイッチは入っていますか？ →電源スイッチを入れてください。 • テレビモード以外の入力モードになっていませんか？ →テレビモードに設定してください。
映像も音声もノイズしか出ない	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナが壊れたり、アンテナ線の断線、方向ズレはありませんか？ →アンテナの修理、方向修正をして下さい。
映像が二重､三重になる（ゴースト）	• 山やビルなどからの反射電波が考えられます。 →アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 • アンテナの方向がズレていませんか？
色じま模様が出る	• 近くのテレビからの妨害電波を受けている可能性があります。 →アンテナの向きや高さを変えてみてください。 • 他の機器からの影響（妨害電波）を受けていませんか？ また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。 →妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。
画像にはん点が出る	• 自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていることがあります。 →アンテナをなるべく道路、線路、ネオンなどから離すようにしてみてください。
映像や音声が出なくなる、または時々出なくなる 映像が静止する、または時々静止する	• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整してください。 • アンテナ線の劣化が考えられます。 • 着雪（アンテナ）、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
映りが悪い	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ • 電波状態が悪いことが考えられます。

故障かな？と思ったら

症状	原因や対処のしかた
色合いが悪い、色が薄い	• 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？
画面が暗い	• 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をしなおしてください。
映像が不鮮明 映像がゆれる	• テレビの電波が弱い場合が考えられます。 • 電波状態が悪い場合も考えられます。 • アンテナの方向がズレていませんか？ • 屋外アンテナのアンテナ線が外れていませんか？
接続した機器の映像がでない	• 外部機器は正しくつながっていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。 • 入力切換は合っていますか？ →リモコンまたは本体の入力切換ボタンで、入力を切り換えてください。

音声

症状	原因や対処のしかた
音が出ない	• 音量が最小になっていませんか？ •「消音」状態になっていませんか？ • イヤホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	• B-CAS カードは正しく挿入されていますか？ • 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？
引越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	•「初期設定」の「地上デジタル自動設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	• お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

エラーメッセージ一覧

代表的なエラーメッセージ表示について説明します。

デジタル放送

メッセージ	対処のしかた
このチャンネルはご覧になれません	• 放送されていないチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。
信号が受信できません	• 雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われているかも確認してください。
現在放送されていません	• 放送を休止しているチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。
チャンネルが設定されていません	• チャンネルが割り当たっていない数字キーを押したときに表示されます。
この B-CAS カードは使用できません	• B-CAS カードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。付属の B-CAS カードを正しく入れてください。
B-CAS カードが正しく挿入されていません	• B-CAS カードが挿入されていないときに表示されます。
この B-CAS カードは交換が必要です B-CAS カードが故障しています	• B-CAS カードが故障しています。
この IC カードはご使用になれません	• 無効な IC カードが挿入されています。B-CAS カードを挿入してください。
放送チャンネルではないためご覧になれません	• 放送チャンネルを選択しなおしてください。
未読メールがあります	• ソフトウェアのアップデートなどの情報メールが到着しています。メールを確認してください。
ソフトウェアのダウンロード中です	• ソフトウェアをダウンロードしています。そのままお待ちください。

壁掛けでご使用になるとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- **テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。**
- **壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。**
- **専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だったりすると、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。**

お知らせ

ネジ穴寸法は 100mm × 100mm です。
VESA 規格に準じた金具をご購入ください。

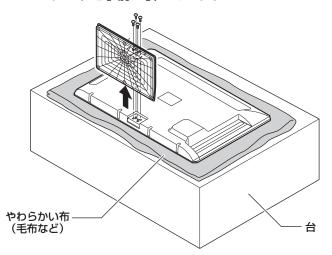
ご注意

- 壁掛け金具の本体側固定用にご使用になるネジは、4 × 12 mm以上の長さを使用しないでください。
- 長いネジをご使用になると内部の部品へダメージを与え製品を損傷致します。

スタンドのはずしかた

本機を壁掛けでご使用になるときは、スタンドをはずしてください。

1 **テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く**

2 **スタンド部分のネジ（4 箇所）を取りはずし、スタンドを手前に引いてはずす**

ご注意

- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

はじめに
準備
基本の操作
外部機器との接続
調整と設定
その他

主な仕様

◆ テレビ

型名		LCB1903V	LCB2203V	LCB2403V
種類		19V 液晶デジタル ハイビジョンテレビ	22V 液晶デジタル ハイビジョンテレビ	24V 液晶デジタル ハイビジョンテレビ
液晶パネル	画面サイズ（横×縦）	409.8mm × 230.4mm	476.6mm × 268.1mm	521.3mm × 293.2mm
液晶パネル	駆動方法	TFT アクティブマトリクス		
液晶パネル	画素数（水平×垂直）	1366 × 768	1920 × 1080	
液晶パネル	応答速度	5.0ms (Typ. On/Off)		
液晶パネル	視野角	左右 170°／上下 160°（標準値）		
液晶パネル	輝度	250cd / ㎡（最大値）		280cd / ㎡（最大値）
液晶パネル	コントラスト比	1000:1（標準値）		
電源		AC100V 50/60Hz 共有		
消費電力（定格消費電力）		24 W（34 W）	27W（ W）	26 W（36 W）
待機時消費電力		0.1W		
年間消費電力量		36 KWh ／年	41 KWh ／年	40 KWh ／年
省エネ達成率		122%　★★★	158%　★★★★★	172%　★★★★★
スピーカー		4 cm × 2 cm　2 個		
音声出力		3W + 3W		
受信チャンネル		地上アナログ :VHF(1 ～ 12ch)・UHF(13 ～ 62ch)・CATV (C13 ～ C63ch) 地上デジタル :UHF(13 ～ 62ch)・CATV パススルー (VHF,UHF) 対応 BS デジタル :BS000 ～ BS999、110 度 CS デジタル :CS000 ～ CS999		
入力・出力端子	ビデオ入力 × 1	映像 : 1V(p-p)、75 Ω、負同期 音声 : 500mV(rms)、22k Ω以上（インピーダンス）		
入力・出力端子	PC 入力	D-sub15 ピン 音声 : 口径 3.5mm ステレオミニジャック　500mV　22k Ω以上（インピーダンス）　本ジャックは HDMI2 接続時のみ有効になります。 対応入力解像度：　640 × 480@60Hz, 800 × 600@60Hz, 1024 × 768@60Hz		
入力・出力端子	HDMI 入力 × 2	HDMI Ver.1.2 標準規格 HDMI 対応入力解像度：480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p		
その他の機能		電子番組表（EPG）対応：6 チャンネル 5 時間分表示、8 日分受信、視聴予約可能 双方向データ放送（BML）対応		
使用条件		使用周囲温度 :0℃～ 35℃、使用周囲湿度 :20% ～ 80%(結露のないこと)		
外形寸法	幅	457.6mm	528.9mm	573.0mm
外形寸法	高さ	341.2mm	382.8mm	405.8mm
外形寸法	奥行き（スタンド含む）	156.9mm	187.0mm	
スタンド角度調整範囲		上約 10°／下約 5°（手動）		
質量		3.5 Kg	4.0 Kg	5.0 Kg
付属品		スタンドベース、ネジ 4 本、リモコン 1 個、単 4 形乾電池 2 個、 B-CAS カード 1 枚、取扱説明書 1 部、簡単接続ガイド 1 部、保証書 1 部		

主な仕様

◆ リモコン（RC-005）

電源	DC 3V（単４形乾電池× 2）
質量	92.5 g（乾電池を含まない）
リモコン操作距離	約７ m（ただし直進）

＊ 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

年間消費電力とは：省エネルギー法に基づいて型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。
このテレビをご使用できるのは、日本国内のみで外国では使用できません。

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

◆ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。

◆ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

[保証期間中の場合]

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。ユニテクサービスセンターにご連絡ください。

[保証期間を過ぎている場合]

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはユニテクサービスセンターまでお願いいたします。

◆ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です。）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

◆ 個人情報の取扱いについて

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しての問い合わせは、ユニテクサポートセンターへお願いいたします。

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　原文（英文）

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel Busybox	Exhibit A
Glibc Gcc	Exhibit B
Malloc	Exhibit C
Yamon	Yamon
	Access

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991
Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)
   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)
   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.
   For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED

BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.
The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.
   The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)
   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.
   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defi ned independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)
   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..
When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defi ned by law.
If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.
7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License.
If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.
For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc / free / realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu
VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)
Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c
Check before installing!

YAMON;

SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("Agreement")
IMPORTANT- This Agreement legally binds you (either an individual or an entity), the end user ("Licensee"), and MIPS Technologies, Inc. ("MIPS") whose street address and fax information is 1225 Charleston Road, Mountain View, California 94043, Fax Number (650) 567-5154.

1. DEFINITIONS-
The following definitions apply to this Agreement:."Authorized Product" shall mean a product developed by MIPS or under a license that was granted by MIPS.
"Documentation" shall mean documents (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion), and any information, whether in written, magnetic media, electronic or other format, provided to Licensee describing the Software, its operation and matters relating to its use.
"GPL Materials" shall mean any source or object code provided by MIPS to Licensee under the terms of the GNU General Public License, Version 2, June 1991 or later ("GNU GPL").
"IP Rights" shall mean intellectual property rights including, but not limited to, patent, copyright, trade secret and mask work rights.
"Licensee Code Modifications" shall mean any modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS, made by or on behalf of Licensee.
"MIPS Code Modifications" shall mean modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS or any third party licensed by MIPS, wherein such third party grants back to MIPS a license under such code modifications with the rights to sublicense and grant further sublicenses.
"MIPS Deliverables" shall mean the Software, Documentation and any other information or materials provided by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement except for GPL Materials.
"Software" shall mean software containing YAMON Code, any other source and/or object code provided by MIPS at its sole discretion, and any Documentation contained in such software at MIPS' sole discretion.
"YAMON Code" shall mean source and/or object code for the YAMON monitor software, Ver. 1.01, or later (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion).

2. MIPS LICENSE GRANTS
(a) Subject to Licensee's compliance with the terms and conditions of this Agreement and payment of any fees owed to MIPS, MIPS grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license to:
  (i) use the MIPS Deliverables at Licensee's facilities solely for Licensee's internal evaluation and development purposes (and to use, copy and reproduce and have reproduced Documentation solely to facilitate those uses of MIPS Deliverables that are allowed hereunder), and to sublicense Licensee's rights granted in this Subsection 2(a)(i) to Licensee's consultants for their use of the MIPS Deliverables at their facilities for their internal evaluation and development purposes;
  (ii) make, use, import, copy, reproduce, have reproduced, modify, create derivative works from YAMON Code only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and to sublicense its rights granted in this Subsection 2(a)(ii), including the right to grant further sublicenses, provided that with respect to any sublicensee, (A) any IP Rights arising in any modification or derivative work created by such sublicensee shall be licensed back to MIPS together with the right by MIPS to sublicense such rights and grant further sublicenses, and (B) the obligations of Subsection 2(c) below shall apply equally to any YAMON Code modified and/or sublicensed by such sublicensee. These obligations shall be deemed to have been satisfied by Licensee's delivery of a copy of this Agreement to its sublicensee(s).
(b) MIPS further grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license under MIPS' IP Rights in any MIPS Code Modifications in existence now or at any time during the term of this Agreement (including those IP Rights assigned to MIPS or licensed to MIPS with sufficient sublicensing rights to satisfy the license grant in this Subsection 2(b)) to the limited extent that Licensee may make, use and import such MIPS Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Subsection 2(b), including the right to grant further sublicenses under the preconditions set forth in Subsection 2(a)(ii) above. Licensee acknowledges and agrees that MIPS (or any third party) is under no obligation to deliver MIPS Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by Licensee or any sublicensee thereof.
(c) Any YAMON Code modified and/or sublicensed pursuant to this Agreement must (i) contain all copyright and other notices contained in the original YAMON Code provided by MIPS to Licensee, (ii) cause modified files to carry prominent notices stating that Licensee (or any sublicensee) changed the files and the date of any change, and (iii) be sublicensed under terms that disclaim all warranties from MIPS and limit all liability of MIPS pursuant to Sections 8, 9, 11 and 12 herein.
(d) All other rights to the MIPS Deliverables not stated in this Section 2 are reserved to MIPS. Except as set out in this Section 2, Licensee shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, loan, or otherwise transfer or convey the MIPS Deliverables to any third party. These license grants are effective as of the Effective Date. No license is granted for any other purpose.
(e) To the extent MIPS provides any GPL Materials to Licensee, use of such materials shall, notwithstanding any provision of this Agreement to the contrary, be governed by the GNU GPL.

3. LICENSEE CODE MODIFICATIONS
In partial consideration for the rights and licenses granted under Section 2 herein, Licensee agrees to grant and does hereby grant to MIPS a perpetual, irrevocable, non-exclusive worldwide, royalty-free, fully-paid limited right and license under Licensee's IP Rights in any Licensee Code Modifications (including those IP Rights assigned to Licensee or licensed to Licensee with sufficient sublicensing right to satisfy the license grant in this Section 3) to the extent that MIPS may make, use and import such Licensee Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Section 3, including the right to grant further sublicenses. MIPS acknowledges and agrees that Licensee (or any third party) is under no obligation to deliver Licensee Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by MIPS or any sublicensee thereof.

4. OWNERSHIP AND PREVENTION OF MISUSE OF MIPS DELIVERABLES
(a) This Agreement does not confer any rights of ownership in or to the MIPS Deliverables to Licensee; Licensee does not acquire any rights, express or implied, in the MIPS Deliverables other than those specified in Section 2 above. Licensee agrees that all title and IP Rights in the MIPS Deliverables remain in MIPS (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee agrees that it shall take all reasonable steps to prevent unauthorized copying of the MIPS Deliverables.
(b) MIPS owns all right, title and interest in the YAMON Code and other MIPS Deliverables (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee shall own all right, title and interest in the modifications and derivative works of the YAMON Code created by Licensee, subject to MIPS' rights in the underlying original YAMON Code as provided under this Agreement.
(c) Licensee agrees to provide reasonable feedback to MIPS including, but not limited to, usability of the MIPS Deliverables. All feedback made by Licensee shall be the property of MIPS and may be used by MIPS for any purpose.
(d) Licensee shall make all reasonable efforts to discontinue distribution, copying and use of any MIPS Deliverables that are replaced by a new, upgraded or updated version of any such MIPS Deliverables, including distribution to any sublicensee of such new, upgraded or updated versions.
(e) Licensee shall not make any statement of any kind or in any format, that any MIPS Deliverable is certified, or that its performance in connection with any product is warranted, indemnified or guaranteed in any way by MIPS or any party on MIPS' behalf. (f) Neither YAMON, MIPS nor any other trademark owned or licensed in by MIPS may be used by Licensee, any sublicensee thereof or any party on their behalf without prior written consent by MIPS, including at MIPS' sole discretion a trademark license agreement preapproved by MIPS.

5. ASSIGNMENT
Licensee may not assign or otherwise transfer any of its rights or obligations under this Agreement to any third party without MIPS' prior written consent, and any attempt to do so will be null and void. This prohibition against Licensee's assignment shall apply even in the event of merger, re-organization, or when a third party purchases all or substantially

all of Licensee's assets. Subject to the foregoing, this Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties and their respective permitted successors and assigns.

6. LIMITATIONS OF MIPS' SUPPORT-RELATED OBLIGATIONS
This Agreement does not entitle Licensee to hard-copy documentation or to support, training or maintenance of any kind from MIPS, including documentary, technical, or telephone assistance.

7. TERM AND TERMINATION
(a) This Agreement shall commence on the Effective Date. If Licensee fails to perform or violates any obligation under this Agreement, then upon thirty (30) days written notice to Licensee specifying such default (the "Default Notice"), MIPS may terminate this Agreement without liability, unless the breach specified in the Default Notice has been cured within the thirty (30) day period. This 30-day period may be extended upon mutual, written consent between the parties.
(b) Upon the termination of this Agreement due to Licensee's material breach hereof, Licensee shall (1) immediately discontinue use of the MIPS Deliverables, (2) promptly return all MIPS Deliverables to MIPS, (3) destroy all copies of MIPS Deliverables made by Licensee, and (4) destroy all copies of derivative works of MIPS Deliverables made by Licensee while in breach of this Agreement. All licenses granted hereunder shall terminate as of the effective date of termination.
(c) The rights and obligations under this Agreement which by their nature should survive termination, including but not limited to Sections 3 - 16, will remain in effect after expiration or termination hereof. Subject to Licensee's compliance with the surviving sections of this Agreement identified herein, any sublicenses rightfully granted and derivative works rightfully developed pursuant to Section 2 shall survive the termination of this Agreement.

8. DISCLAIMER OF WARRANTIES
THE MIPS DELIVERABLES ARE PROVIDED "AS IS". MIPS MAKES NO WARRANTIES WITH REGARD TO ANY OF THE MIPS DELIVERABLES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

9. LIMITATION OF LIABILITY AND REMEDY
(a) Licensee acknowledges the MIPS Deliverables are provided to Licensee only for the purpose set forth in Section 2. Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims or defenses based on the sublicensing, use, copying, installation, demonstration and/or modification of any of the MIPS Deliverables by Licensee, any sublicensee of Licensee or any party on their behalf. Licensee shall have sole responsibility for adequate protection and backup of any data and/or equipment used with the MIPS Deliverables, and Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims and defenses for lost data, re-run time, inaccurate output, work delays or lost profits resulting from use and/or modification of the MIPS Deliverables, or any portion thereof, under this Agreement. Licensee expressly acknowledges and agrees that any research or development performed with respect to the MIPS Deliverables is done entirely at Licensee's own risk.
(b) NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER PARTY OR TO ANY THIRD PARTY FOR ANY DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, INDIRECT, EXEMPLARY OR INCIDENTAL DAMAGES, WHETHER SUCH DAMAGES ARISE UNDER A TORT, CONTRACT OR OTHER CLAIM, OR DAMAGES TO SYSTEMS, DATA OR SOFTWARE, EVEN IF SUCH PARTY HAS BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION ON LIABILITY SHALL SURVIVE EVEN IF THE LIMITED REMEDY PROVIDED HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. IN NO CASE WILL MIPS' LIABILITY FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNTS RECEIVED BY MIPS AS FEES UNDER THIS AGREEMENT.

10. WAIVER; MODIFICATION
Any waiver of any right or default hereunder will be effective only in the instance given and will not operate as or imply a waiver of any other or similar right or default on any subsequent occasion. No waiver or modification of this Agreement or of any provision hereof will be effective unless in writing and signed by the party against whom such waiver or modification is sought to be enforced.

11. HAZARDOUS APPLICATIONS
The MIPS Deliverables are not intended for use in any nuclear, aviation, mass transit, medical, or other inherently dangerous application. MIPS EXPRESSLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR SUCH USE. LICENSEE REPRESENTS AND WARRANTS THAT IT WILL NOT USE THE MIPS DELIVERABLES FOR SUCH PURPOSES.

12. SEVERABILITY
In the event any provision of this Agreement (or portion thereof) is determined to be invalid, illegal or otherwise unenforceable, then such provision will, to the extent permitted, not be voided but will instead be construed to give effect to its intent to the maximum extent permissible under applicable law and the remainder of this Agreement will remain in full force and effect according to its terms. IN THE EVENT THAT ANY REMEDY HEREUNDER IS DETERMINED TO HAVE FAILED OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, ALL LIMITATIONS OF LIABILITY AND EXCLUSIONS OF DAMAGES SHALL REMAIN IN EFFECT.

13. RIGHTS IN DATA
Licensee acknowledges that all software and software related items licensed by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement are "Commercial Computer Software" or "Commercial Computer Software Documentation" as defined in FAR 12.212 for civilian agencies and DFARS 227.7202 for military agencies, and that in the event that Licensee is permitted under this Agreement to provide such items to the U.S. government, such items shall be provided under terms at least as restrictive as the terms of this Agreement.

14. MISCELLANEOUS
(a) The MIPS Deliverables and GPL Materials may be subject to U.S. export or import control laws and export or import regulations of other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to Licensee. Licensee shall indemnify, defend and hold MIPS harmless from any damages, fees, costs, fines, expenses, charges and any actual or threatened civil and/or criminal claims or defenses arising from any failure of Licensee and/or its customers to comply with any obligations arising under this Section 14(a).
(b) Any notice required or permitted by this Agreement must be in writing and must be sent by email, by facsimile, by recognized commercial overnight courier, or mailed by United States registered mail, effective only upon receipt, to the legal departments of MIPS or Licensee (if Licensee has no legal department, then to an officer of Licensee, a contact person specified by Licensee or Licensee's place of business).
(c) The headings contained herein are for the convenience of reference only and are not intended to define, limit, expand or describe the scope or intent of any clause or provision of this Agreement.
(d) The parties hereto are independent contractors, and nothing herein shall be construed to create an agency, joint venture, partnership or other form of business association between the parties hereto.
(e) Licensee acknowledges that, in providing Licensee with the MIPS Deliverables, MIPS has relied upon Licensee's agreement to be bound by the terms of this Agreement. Licensee further acknowledges that it has read, understood, and agreed to be bound by the terms of this Agreement, and hereby reaffirms its acceptance of those terms.

15. GOVERNING LAW AND JURISDICTION
This Agreement shall be governed by the laws of the State of California, excluding California's choice of law rules. With the exception of MIPS' rights to enforce its intellectual property rights in the MIPS Deliverables, all disputes arising out of this Agreement shall be subject to the exclusive jurisdiction and venue of the state and federal courts located in Santa Clara County, California, and the parties consent to the personal and exclusive jurisdiction and venue of these courts. The parties expressly disclaim the application of the United Nations Convention on the International Sale of Goods to this Agreement.

16. ENTIRE AGREEMENT
This Agreement and the GNU GPL constitute the entire agreement between MIPS and Licensee regarding the MIPS Deliverables and GPL Materials provided to Licensee hereunder, and shall supersede and control over any other prior or contemporaneous shrinkwrap and/or clickwrap agreements regarding the same. Any additions or modifications must be made in a subsequent, written agreement signed by both parties.

ソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文

オープンソース・ソフトウェア

【オープンソース・ソフトウェアの使用条件が記載された URL】

(a)ijgjpeg	http://www.ijg.org/
(b)zlib	http://www.zlib.net/zlib_license.html
(c)libpng	http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt

【本契約締結時点のでオープンソース・ソフトウェアの使用条件】
<Image Decoder Modules>

(a) ijgjpeg
(b) zlib
(c) libpng

(a) ijgjpeg

ijgjpeg License Terms

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in
advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)
So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

(b) zlib

zlib License Terms

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

(c)libpng

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.18, May 15, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors
and Group 42, Inc.
assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
May 15, 2007

ライセンスおよび商標などについて

- ACCESS™ NetFront® 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE HDMI、MDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース･エンジニアリング、逆アセンブル、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。 CHECKED: K.

株式会社 ユニテク

サービスセンター

電　話　(03) 5387-1342
営業時間　9:00 ～ 12:00
　　　　　13:00 ～ 17:00
土日、祝日および年末年始は、お休みとなります